


# 市民教授 個人票

No. **N09**

<b>書道(漢字・仮名)</b>		豊田 ハマ ( とよだはま )			ゲストティーチャー		
住所	319-1414 茨城県 日立市日高町			生年	1941	女	
TEL	0294-42-4872	Fax	0294-42-4872	E-mail	<a href="mailto:u">u</a>		
謝礼	相談						
指導場所	交流センター、自宅			指導方法	実技指導書・教材などにより手本を書き、それを基に練習をし、添削致します。		
曜日時間	月・金・土曜 14時～相談						
自己PR	初歩からご指導いたします。 ご希望に添って仮名、毛筆、硬筆書など、楽しく学べるようにしております。						
指導中の自主グループ	グループ名	指導場所	会員数	ゲストティーチャー歴			
	すみの会	日高交流センター	11	平成13年 日高小学校 初歩・書初			
	書道会	自宅	6	平成13年 日高中学校非常勤講師			
指導歴	講座名		開催場所		実施回数	参加者数	備考
	滑川小学校 PTA講座		滑川交流センター		1	10名	平成20年
表彰歴・資格	読売展友会・日田市支店招待、審査員・書道研究玄筆会師範・書聖教範 県展30回入選・謙慎展理事・日本教育書道師範						
講座のレベル	<input type="radio"/> 初級(その分野を初めて経験する人を対象)			SNS(フェイスブック・ツイッターなど)のURL			
	<input type="radio"/> 中級(簡単な指導でやっていける人を対象)						
	<input type="radio"/> 上級(講師を目指す人を対象)						
指導風景・作品写真							
講座企画者の皆様へ	①通常講座は2時間くらいです。材料費は会費の中から ②指導料は各種市民教授と同額でいいです。ご相談に応じます。 ③1回～数回でも結構です。						

# 日高中横山千亜希さん

## 茨城県教育長賞受賞

「令和3年度茨城ものづくり教育フェア児童・生徒

横山さんは作品について「外出用に手頃なバックが欲しい」と思い、パッチワークで作ってみました。パッチワークは、小さな布を組み合わせて一枚の布にする根気のある作業です。夏休みに1週間ほどかけて、作成しました」と説明してくれました。横山さんの自宅には手芸用の布がたくさんあり、幼い頃から手芸に興味があったそうです。



教育長賞を受けたパッチワークの1dayバック

作品コンクールにおいて、日高中2年横山千亜希さんの作品が、県教育長賞を受賞しました。

本紙発行の数日後には、全国大会へ出品されます。

### 新人戦大会の結果

令和3年度日立市新人体育大会が開かれました。日高中生徒の入賞者を紹介します。

【団体戦】

優勝 ソフトテニス男子

### 正月は心を込めた手作りのお飾りで

師走の風が冷たさを増した昨年12月19日、2年ぶりに正月用のしめ飾りを作るわら細工教室が交流センターの体育館で開催されました。当日は、地元の小野俊郎さんから提供された稲わら、

- 4位 卓球男子
- 5位 バレーボール女子
- 8位 卓球女子

【個人戦】

- 優勝 ソフトテニス男子
- 菅野七優太・菊池七斗組
- 優勝 柔道男子 中村礼輝
- 3位 柔道女子 横山千亜希
- 卓球ダブルス男子 駒野修太・松崎元哉組

木田勝壽さんからのゆずり葉、そして事務局が用意したしめ飾り用の装飾セットが多数用意され、参加者はそれらを受け取ると体育館の床に敷かれたシートとゴザに間隔をあけて座り作成開始です。

作成指導は例年どおり、根本則子さんと志賀勝弘会長で、縁起物の作成にふさわしく賑やかな解説で会場を盛り上げながら、参加者の間をめぐりつつ指導を行いました。参加者の多くが経験者で、約1時間半もすると全員がしめ飾りを完成させることができました。

### 日高麵棒クラブ

#### 17年の活動に幕

そば打ち教室でおなじみの「日高麵棒クラブ」が12月17日で惜しまれながら解散しました。そば打ち指導者で、クラブの代表でもある根本東洋男さんに話を伺いました。

平成16年に、勝間田実・木田勝壽・根本東洋男さん

### 東連津

平成26年退職帰国し、その年から地域ボランティアとしてふれあいの場を沢山頂きました。未就学児親子のおもちゃライブラリー、高齢者とのこにこクラブやふれあいサロン(おげんきクラブ)を通じて沢山の方々と交流があり、地域の一員として微力ながら参画できたことが良かった

「ふれあい」

福祉 ふれあい事業部 大田 康夫

### あの人 この人

日高町 豊田ハマさん (80歳)

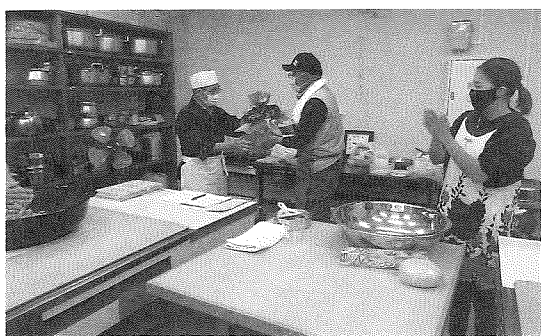


日高で60年以上の長きにわたり書道教室を開いてこられた豊田ハマさんは日立市弁天町に生まれ、小さい時から両親の教育方針で書道、そろばん、お花やお琴等の習い事をされてきました。

中でも小学校2年の時、始めて通った書道教室から家に帰るなり「書道の先生になる」と宣言するほどの

出会いだったそうです。その願いを持ち続け、20歳頃に現在の日高町に実家が移ったのを機に、日立電線日高工場の子弟に教えることをはじめ、その後幼稚園、小学、中学校から頼まれて書道を指導してきました。教え子の人数は数えきれず中には既に還暦を迎えられた方もいらつしやるそうです。

(田所 剛)



記念の花を送られる根本東洋男さん